

## 文化発表会!

10月9日(水)ルネこだいらで文化発表会が行われました。今回のスローガンは、2年D組から出された「天歌夢奏」(天に届くような歌声を夢にみるように奏でよ)でした。どのクラスも練習の成果を発揮し、素晴らしい歌声がホールに響きわたりました。

外部審査委員の若松先生、音楽科の遠藤先生からのコメントを紹介します。来年に向けて、アドバイスを活かしていきましょう。

C組・次のフレーズに行く時、淡白にならない(サクサク前に行かない)様にしましょう。

支え(音の芯)が少し弱かった。

・課題曲は、テンポが少し速かった。決めが流れていた。自由曲は、ロングトーンが良かったです。

B組・自由曲は、低音が良く響いていました。落ち着いたテンポも良かった。

・課題曲は、少し、のど声になった。自由曲は、決めの所が、全部決まったね。

D組・とても良くまとまって、音楽が作られていました。次の次元(言葉のたて方)に進みましょう。

・課題曲は、バランス良く歌えていました。自由曲は、強弱が良かった。合唱になっていました。

A組・もう少し、息をしっかりと吸う、支え(音の芯)をしっかりと。気持ちがこもって歌えていました。

・課題曲は、曲にノッていました。テノールが良かった。自由曲は、ハーモニーが良かったです。



2回目の文化発表会が、もう終わってしまいました。

練習が始まってすぐ、私が今回の文化発表会にかける目標は「クラスで金賞を獲得」でした。今年こそ、努力の成果を認めて欲しかったのです。だから、放課後の練習の時にはしっかり考えました。どうすれば、「良い合唱になるか」ということを。そして、それは新たな目標となりました。

そのために、まず指揮者として前に立ちました。皆の合唱に耳を傾け、少しでも良くなるように。課題はいくつもありませんでした。それらを改善していくのはとても大変でした、というより、その課題を伝える方が大変でした。練習の時、「早く帰りたい」という声が聞こえたからです。そう思っている人には、うまく伝わらないでしょう。だから私は、全力で練習に励みました。1人だけ本気でいるなんて恥ずかしいと思うこともありましたが、頑張りました。そうしたら皆、しっかり歌うようになってきました。これは私以外にも合唱コンクールに本気な人がいたということです。すごく嬉しかったです。

そして当日、いつも通りの顔には、いつもと違う緊張感が混ざっていました。でも、全力は出せたと思います。聴いていてとても幸せでした。

賞を獲得することはできず、悔しさが残りましたが、楽しく、とても良い行事になりました。また、今年は2度目の文化行事委員をやりました。目立って仕事をするわけではないけれど、行事を創ることに関わり、貢献することのできる文化行事委員は、とても楽しくやりがいいがあって好きだ、と改めて感じました。

文化発表会、私はすごく楽しかったです。最初から最後まで充実した時間を過ごせました。来年は3年生。自分がどんな立場であろうと、文化発表会を悔いのないよう成功させたい、という思いで溢れています。